

## 神電協ビジョン2030

電気設備は、経済・産業活動や国民生活を様々な面において支えている重要な社会基盤ですが、DXによる生産性・技術力の向上や、脱炭素社会の実現への貢献など、電気設備工事業界が対応すべき課題は、高度化、複雑化しています。神奈川県電業協会は、社会のニーズに対応した施工品質を維持するため、電気工事技術者及び技能者の人材確保・育成、技術・技能の向上を図り、会員企業の発展と電気工事の安全かつ適正な施工及び災害時の緊急対応を通じて社会に貢献します。また、SDGsを意識した取り組みで、経済的価値と環境・社会的価値の両立を目指していきます。

### 行動計画(2025.4から5年間)

- 1 会員企業の発展を支援する。
- 2 施工品質向上、省エネ・再エネへ取り組むための調査研究及び講習会を実施する。
- 3 災害時における地域復旧活動を支援する。
- 4 適正な受注機会、施工方法の確保に向けた要望活動を行う。
- 5 就労機会の提供及び労働力確保のため、工業高校、職業技術校、専門学校、大学との連携を深める。
- 6 公益目的支出計画を着実に実施する。
- 7 DX・GXの情報収集に努め、会員企業の業務プロセス改善を支援するとともに、社会システムの改革に繋げる。

### 7つの実施施策

#### 1 会員企業の発展を支援

- 会員相互の連携を強化するため各種行事を実施
- 各地区電業協会等との連携強化
- ホームページによる入会案内等PRの強化
- 中小企業支援機関【(公社)けいしん神奈川、(公財)神奈川産業振興センター、(公財)横浜企業経営支援財団、(公財)川崎市産業振興財団など】との連携

#### 2 施工品質の向上、省エネ・再エネへの取組

- 現場代理人講習会の開催
- 現場見学会の開催
- 安全教育に関する研修の実施

#### 3 災害時における地域復旧活動を支援

- 地方公共団体と締結した防災体制の維持
- 近県電業協会との協力により、災害時の広域連携体制を構築

#### 4 適正な受注機会、施工方法の実現

- 公共工事の「分離発注」実現に向けた国、県、市への定期的な要望活動の展開
- 働き方改革に向けて週休2日等適切な工期設定に向けた関係機関への要望活動
- 国・県・市の入札制度見直し、施策をリサーチ(日本電設工業協会との連携)

#### 5 就労機会の提供及び労働力の確保

- 工業高校、職業技術校、専門学校、大学との「意見交換会」、「出前授業」、「インターンシップ」の実施
- 会員企業の採用計画を関係機関に通知
- 新3K+1(給与がいい・休暇がとれる・希望がある・カッコいい)実現に向けての活動
- 合同企業説明会等への参加

#### 6 公益目的支出計画の着実な推進

- 一般社団法人移行認定申請時に定めた「公益目的支出計画」事業の着実な実施
- 協会財務の安定のために、各種補助金を活用

#### 7 DX・GXへの対応

- 電設工業展(JECA FAIR)などでの情報収集
- 電材メーカーの新技术、新素材に関する情報収集

PDCAサイクルによる検証と改善を事業計画と予算に反映